

2026春季生活闘争が本格化!!

～分会代表者会議(WEB)を開催～



賃上げの流れが続く一方で、物価上昇に追いつかない現実。いま求められているのは、更なるうねりを生み出す労組の力。3月6日、分会代表者会議にて、春闘取組が加速しました。

冒頭、加藤吉征地本委員長は挨拶の中で、近年の春闘について「この3年間、30年ぶりの高い賃上げ水準が続いているものの、物価上昇に賃金の伸びが追いついていない状況にある」と指摘しました。そのうえで、公務員の賃金についても、労使合意のもとで決定されるべきであり、政治的介入の排除とともに、若年層から高齢層までバランスの取れた賃金体系の確立を求めていく必要性が強調されました。

また、春闘の取組については、連合の方針に基づき、公務労協との連携のもと、人事院勧告へつなげていく重要性が示されました。

民間賃上げの流れが公務員賃金へ、さらに地場賃金へと波及していく構造を踏まえ、「全体の流れを意識した取組を進めていくこと



発行所
熊本市西区京町本丁2の7
全国林野関連労働組合
九州地方本部
電話 096-354-1150

発行者 松本慎剛
発行日 10日
定価 1部20円
組合員の購読料は組合費の中

緑を育て、守る、 林野労組

当面の行動

- 4月9日 森林労連共済 地方共同推進委員会
- 4月10日 安全祈願
- 4月21日 執行委員会
- 4月22日 団体交渉
- 5月13日 執行委員会(議案骨子)
- 5月22日 全国組織財政委員会 全国書記会議

とが重要であると挨拶がありました。続いて会議の提起では、具体的な春闘方針として、ベースアップ3%以上、定期昇給分を含め5%以上の賃上げを目安とする要求水準が示されるとともに、労働条件の改善要求を取りまとめた要求書を、速やかに全分会で提出することが確認されました。

さらに、全国統一行動日に合わせた職場集會の実施や、交渉の積み上げを通じて、8月予定の人事院勧告につなげていく取組の流れも確認されました。他方で、組織の課題として、組織率が90%を下回った現状が報告され、「組織強化が最重要課題であることも共有されました。

特に新規採用者や選考採用者の加入促進においては、組合費負担などの課題が報告されていることから、分会段階での丁寧な声かけと信頼関係の構築が不可欠であるとされ、4月の組織化対策強化月間を確実に実施すると確認されています。

連携した交渉で 現場実態を伝える

国交連合九州と林野労組で人事院交渉

2026春季生活闘争の取組を進める中、3月9日、地本は国交連合九州と連携し、人事院九州事務局との交渉を実施しました。

当日は、国交連合九州から8名、林野労組から加来執行委員が出席。冒頭、国交連合九州の小林議長(国税労組)は、「賃金の上昇が物価上昇に追いつかず、実質賃金のマイナスが続いている。公務で働く多くの者も、生活に不安があると感じていることから、本日は各種課題の改善に向け要求していきたい」と述べました。

続いて、要求事項(公務労協情報参照)に加え、林野労組からは「山上等作業手当の適用業務の拡充」を求めました。国有林野事業では、急傾斜地での作業を行っている実態があること、また、作業内容の違いのみを理由に手当が支給されていない現状があることなど、厳しい労働環境の実情を具体的に訴えました。

これに対し、人事院九州事務局長は、「国有林野の現場実態について、過酷な現場であること



人事院九州事務局長へ直接届ける

とを改めて本院および関係課に伝えていく」との見解を示しました。一方で、「山奥での作業において、作業内容が異なるだけで手当が支給されていない」という実情については認識できた」との発言もあり、現場の実態が共有されつつある

匠の腕

「開花宣言」

(撮影者 江口 晃：鹿児島分会)



「匠の一言」
今年も春がやってきました。新年度心を新たに頑張らしましょう!



このことから今後、分会段階での具体的な行動がその成否を左右します。

まずは本部指示を確実に積み重ね、地方から流れをつくり出し、中央へ繋げていくことが求められます。

このことからも今後、分会段階での具体的な行動がその成否を左右します。

て、①60歳前後における賃金カーブの連続性の確保、②若手から高齢層までバランスの取れた賃金体系の確立、③労働時間や各種休暇・休業制度の改善、④非常勤職員や障害者雇用に関する労働条件の改善、⑤各種ハラスメントの防止など、働きやすい職場環境の整備を求めました。

最後に、人事院九州事務局長は「本日受けたすべての要求事項を真摯に受け止め、本院へ伝えていく。いただいた意見を踏まえ、適正かつ適切に対応していきたい」と述べ、交渉を終えました。

林野労組としても、今後さらに現場実態の把握と発信を強化し、処遇改善に向けて全力で取り組んでいきます。

正直に言う
と、機関紙でちよつとハードル高くないですか? ちゃんと読めば大事なこと

が書いてあるのは分かる。でも、「あとで読もう(シチュレクター)」で終わること、けっこうあると思うんです。だったら、もっとサクッと読めて、ちゃんと分かる形にしてみよう。そんな思いで新しいコーナーをつくりました。難しい言葉はできるだけ使わない。「で、結局なにしているの?」が伝わる。そして、実際にどう関係あるのかがイメージできます。そんな記事を目指しています。▼実はこのコーナー、つくっている側も挑戦中。どうしたら伝わるか、試行錯誤しながらやっていますので、「ここが良かった」とか「ここが良くない」とか「感想もらえたら嬉しいかな」一緒に「読みたい」なる機関紙にしていきたい。この機関紙からも新入組員を支えていきたい。(松本)

人事院勧告へ向け確かな手応え

青女のエースが語る、大分西部地区春闘決起集会



大分西部地区の熱量を人事院勧告へ繋げる

2026年2月19日(木)、日田市「はなの樹」において、連合大分西部地区協議会・2026春季生活闘争学習会・勝利総決起集会が開催され、各単組から約80名が結集しました。大分西部分会からは1名が参加し、地域全体で春闘に向けた意思統一を図られました。

冒頭、協議会の石井議長の見直しや制度の改善を一体的に進めていくことが不可欠です。特に印象的だったのは、「一人への投資」という考えです。これは単なるスローガンではなく、一人ひとりの働き方や生活を守り、将来につなげていくための具体的な行動そのものだと思います。

参加者からは、「地域や職場がつかないのが力になる」という声も聞かれ、春闘を「自分ごと」として捉える重要性が改めて共有されました。

学習会終了後には、3・8国際女性デーアピールおよび集会アピールの採択が行われ、最後に閉結ガバローで集会を締めくくりました。会場全体に広



様々な組織が結集し春闘を盛り上げる

ます。我々若手職員にとって、今の働き方や賃金水準が、当たり前として固定されてしまっているのか、それとも変えていけるのか、その分かれ道に立っているとも言えます。

あの人とあの人

「いま押さえておきたい若手」

藤原 優志さん(都城分会)

今回都城分会からは、採用2年目の藤原優志さんを紹介いたします。

藤原さんは芦北高校出身の20歳。3月まで管理を担当し、4月から森林事務所勤務となり、初めての業務に戸惑いながらも楽しく業務に取り組んでいます。

そんな彼は、運動神経もよく、職場で週に1度のバトミントン、ミニバレーにも積極的に参加し汗を流しています。特にバトミントンでは、高校時代のバトミントン部(早期勇退)とのことで、きらりと光るものがあります。

趣味は音楽で、飲み会の席では優里の顔と優しい声でみんなを魅了し、また、都城市内のバンド仲間と音楽活動をしていて、宿舎では周囲に気を遣いながら、夜な夜なエレキギターの練習をしています。さらに、押しグループのコンサートにも観戦する等、充実したプライベートを過ごしています。

分会では、青年女性委員長で、分会独自のTシャツ、ポロシャツを青年女性委員の先輩と協力してロゴのデザインから作り上げて物販活動を行ったり、積極的に学習会に参加する理由も、団体割引(20%)が効くので、民間商品と比べ安く買ったケースが多いんです。車の維持費は大変なので、「固定費を下げる簡単な方法」なのが人気の理由。

このように森林労連共済は、「組合員の家計にやさしい・リスクに備えられる」これだけ盛りだくさんなのに、若い世代に十分伝わっていないのはもったいない!

森林労連共済は堅苦しく見えて、実は組合員にとってめちゃくちゃ有利な制度なんです。まだ加入していない方は、ぜひ身近な役員や先輩に気軽に聞いてみてください。「こんなに違うんだ」と驚くポイントがきっとあるはずです。

実際に話を聞いてみると、「もっと早く知りたかった」「思ってたより手続きが簡単



鳴らせ、若き鼓動!!

組合員の生活に寄り添った職場集会

局分会主催 資産運用セミナー



生活に密着した情報を共有する局分会

2月25日(水)夕刻、局分会は九州森林労連会館3Fにおいて、九州ろうきん熊本駅前支店と共催で、資産運用セミナーを開催しました。

この取組は、昨今における賃金の伸びが物価上昇に追いつかない厳しい状況が話題とされる中で、ろうきん運動を通じて資産形成を考えるきっかけになればとの思いから分会が呼び掛けを行い企画したものです。

講師を務めていただいた同支店の阿部様は、労働組合がろうきんを設立した時代背景を紹介し、「教育費や住宅ローン、介護など、出費のピークが来ることを想定し資産形成に取り掛かる意味を学習し、預金やインフレで目減りするといわれる時代において、投資信託に対する自分のリスク許容度を自ら理解した上で、運用益が非課税となる積み立てNISAやiDeCなどによる複利の力で資産を増やす方法を是非ご検討いただきたい」と身近な事例を交えながら丁寧に説明して頂きました。

今回のセミナーにおいて、身



券金担当者がインフレ時代のコツを教えてくださいました

3分でわかる〇〇のコーナー

『森林労連共済って実際どう?』



執行部も共済制度をおさらいしました

全国で展開している「共済推進オルグ」。九州でも局分会の執行部を中心に、「共済って実際どう役立つの?」という素朴な疑問に答えるオルグ(教宣活動)が開催されました。

最近共済の制度を上手く伝えられず、若年層の加入が少ないことが課題。

でもこれって「もったいない状況」なんですよね。

その理由は団体割引(20%)が効くので、民間商品と比べ安く買ったケースが多いんです。車の維持費は大変なので、「固定費を下げる簡単な方法」なのが人気の理由。

このように森林労連共済は、「組合員の家計にやさしい・リスクに備えられる」これだけ盛りだくさんなのに、若い世代に十分伝わっていないのはもったいない!

森林労連共済は堅苦しく見えて、実は組合員にとってめちゃくちゃ有利な制度なんです。まだ加入していない方は、ぜひ身近な役員や先輩に気軽に聞いてみてください。「こんなに違うんだ」と驚くポイントがきっとあるはずです。

実際に話を聞いてみると、「もっと早く知りたかった」「思ってたより手続きが簡単



局分会担当は4月から3F 阿部さんに